

各校の意見集約について

第4回検討委員会を踏まえた案

小学校名	意見集約
旧下谷小学校	エントランスや階段まわりなどに復興小学校の特徴的デザインを有しており、意匠的な価値があります。校舎の改変事例が多いなか、建物が「学校らしさ」を留めていることや当初の講堂が残っていることも貴重です。
	当該敷地を含め、周辺地区を整備していくならば、旧下谷小学校の歴史的価値を活かすことで、より魅力的な都市の形成が可能とも考えられるため、可能な限り既存校舎を活用することが望まれます。
	当該敷地は、J Rや東京メトロ、京成の上野駅が近傍にある交通至便地であり、かつ周辺に公共施設が集積する立地であることから、区のシビックセンター※としての拠点に位置するという歴史を有しています。さらに近傍の上野駅を中心とした広域的なまちづくりにおいて再開発が行われる可能性が高く、当該敷地を含めて開発が検討される可能性があります。
旧坂本小学校	今後については、区が策定中である「(仮称) 上野地区まちづくりビジョン」や将来の行政需要への対応も含め、最も有効な活用を図るため、行政が責任を持って主体的に判断することになります。
	議論の中では、公共公益施設の再編、機能更新の拡充を図る過程において、解体も選択肢となり得るとの意見も挙げられました。解体を選択する際には、歴史的価値への配慮や記憶を継承するよう努めることが望まれます。
	※シビックセンター：公共公益施設の集積地

左記案に対して提案された修正案

小学校名	意見集約
旧下谷小学校	エントランスや階段まわりなどに復興小学校の特徴的デザインを有しており、意匠的な価値があります。校舎の改変事例が多いなか、建物が「学校らしさ」を留めていることや当初の講堂が残っていることも貴重です。
	当該敷地を含め、周辺地区を整備していくならば、旧下谷小学校の歴史的価値を活かすことで、より魅力的な都市の形成が可能とも考えられるため、可能な限り既存校舎を活用することが望まれます。
	当該敷地は、J Rや東京メトロ、京成の上野駅が近傍にある交通至便地であり、かつ周辺に公共施設が集積する立地であることから、区のシビックセンター※としての拠点に位置するという歴史を有しています。さらに近傍の上野駅を中心とした広域的なまちづくりにおいて再開発が行われる可能性が高く、当該敷地を含めて開発が検討される可能性があります。
旧坂本小学校	今後については、区が策定中である「(仮称) 上野地区まちづくりビジョン」や公共公益施設の再編、機能更新の拡充を図る過程において、将来の行政需要への対応も含め最も有効な活用を図るため、行政が責任を持って主体的に判断することになります。解体を選択する際には、歴史的価値への配慮や記憶を継承するよう努めることが望まれます。
	※シビックセンター：公共公益施設の集積地
	震災復興時の改築小学校であり、厳密には復興小学校に相当しないが、それに準じた価値を有しています。エントランスや講堂、階段室など意匠的に残すべき価値があり、講堂とトイレのあり方にも、同時期の復興小学校に見られる空間的特徴をよく備えています。「学校らしい」意匠の継承を考慮すると、可能な限り既存校舎を活用することが望まれます。